

食育事業取組報告書(七葉小学校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる・作る食べる・返す	実施年月日	令和6年4月～令和7年1月
教科名	総合	指導者	
単元名	安心安全食プロジェクト～米作り・調査活動～		
ねらい	・田植えや稲刈りの体験をもとにして、米作りについて、もっと調べたいことを見つける。 ・米作りの工夫を知ったり生産者の思いを聞いたりして、農業や食に関わる仕事の面白さや課題に気付く。 ・家庭科での炊飯を通して、おいしいご飯を炊く工夫を見つける。 ・収穫したお米を、自分たちで大切に調理したり、お世話になった方々に感謝の気持ちを込めて振る舞ったりする。		
児童・生徒の活動		支援・指導上の留意点	資料
1 田おこし (4～5月) 2 田植え (5月下旬) 3 調べ学習 (6～7月) 4 栄養士の方からお米についての出前授業 (9月20日) 5 稲刈り (9月～10月) 6 家庭科「食べて元気！ご飯とみそ汁」調理実習 (2学期) 7 収穫祭 (3学期)		・地域の田んぼの先生である農家さんの指導で、田おこし・田植えを体験し、米作りの大変さや工夫に触れる。 ・収穫まで稲の観察を継続する。  ・新発田市教育委員会学校教育課の栄養士の指導により、お米の栄養やお米を使った食品への理解を深める。 ・農家さんの指導で、稲刈りを体験し、米作りの大変さや工夫に触れる。  ・調理実習の進め方を理解し、調理器具を安全に使用する。 ・米からごはんになるまでの観察となべでおいしく炊く工夫を知る。 ・収穫した米をどうするか考え、お世話になった方々に喜んでもらえる方法について計画を立てる。	
成果と課題	・お米についての調べ学習では、興味をもったことをインターネットで調べたり、新発田のJAに電話で聞いたりしたことで、学びを深めることができた。 ・新発田市教育委員会の栄養士から丁寧に指導していただいたことで、お米を身近に感じ、毎日の給食では、白米の残食を気にする児童が増えた。学びを日常生活に生かすことができた。		
家庭・地域との連携	・田おこし、田植え、稲刈り、出前授業、収穫祭等、保護者に情報を発信し、親子の話題にしてもらった。 ・新発田市教育委員会の栄養士による出前授業では、授業で学んだことを家の人に伝える宿題を出し、保護者からもコメントをいただいた。 ・収穫祭を行い、農家さんやお世話になった方と一緒にお米を食べたり感謝の手紙を渡したりした。また、「家の人に食べてもらいたい」という児童の願いもあり、収穫した米を各自、家庭に持ち帰り、家庭で味わってもらった。残ったお米は、フードバンクに寄付した。 ・たよりを通じて取組を家庭・地域に発信し、内容や成果を共有した。		